

貯 法：遮光・密栓・室温保存  
 使用期限：紙箱、容器等に記載  
 注 意：取扱い上の注意の項参照

# 手指用殺菌消毒剤

# スクラベイン4%液

## Scrubeing 4%

### 【禁忌(次の場合には使用しないこと)】

クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある患者

### \*【組成・性状】

- 組成：クロルヘキシジングルコン酸塩液を20vol%含有  
 [クロルヘキシジングルコン酸塩として4w/v%含有]  
 添加物としてアルキルジメチルアミノキシド、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、グリセリン、エタノール、pH調整剤、赤色102号を含有する。
- 性状：スクラベイン4%液は赤色澄明な粘稠性の液体で、特異なにおいがある。  
 pH：5.2～6.2、比重 $d_{20}^{20}$ ：1.063～1.073

### 【効能・効果】

医療施設における医師、看護師等の医療従事者の手指消毒。

### 【用法・用量】

- 術前、術後の術者の手指消毒の場合：  
 手指及び前腕部を水でぬらし、本剤約5mLを手掌にとり、1分間洗浄後、流水で洗い流し、更に本剤約5mLで2分間洗浄をくりかえし、同様に洗い流す。
1. 以外の医療従事者の手指消毒の場合：  
 手指を水でぬらし、本剤約2.5mLを手掌にとり、1分間洗浄後、流水で洗い流す。

### \*【使用上の注意】

- 慎重投与(次の場合には慎重に使用すること)  
 薬物過敏体質の者

#### 2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

#### (1) 重大な副作用 ショック(0.1%未満)

ショックがあらわれることがあるので観察を十分に行い、悪心・不快感・冷汗・眩暈・胸内苦悶・呼吸困難・発赤等があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

#### (2) その他の副作用

次のような副作用が認められた場合には使用を中止すること。

	0.1～5%未満
過敏症	発疹等

### 3. 適用上の注意

#### (1) 投与経路

手指消毒以外の目的には使用しないこと。

#### (2) 使用時

本剤の使用中に誤って眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には、直ちによく水洗すること。

### \*4. その他の注意

クロルヘキシジングルコン酸塩製剤の投与によりショック症状を起こした患者のうち数例について、血清中にクロルヘキシジンに特異なIgE抗体が検出されたとの報告がある。<sup>1)</sup>

### 【薬効薬理】

#### 1. スクラベイン4%液のグラム陰性細菌に対する殺菌力<sup>2)</sup>

供試菌	作用時間(分)	希釈倍数
		スクラベイン4%液 50倍希釈
<i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC 27853	2.5	—
	5	—
<i>Serratia marcescens</i> (環境分離株)	2.5	—
	5	—
<i>Escherichia coli</i> ATCC 25922	2.5	—
	5	—
<i>Salmonella typhimurium</i> ATCC 14028	2.5	—
	5	—

(-)：死滅 (+)：増殖

#### 2. スクラベイン4%液のグラム陽性細菌に対する殺菌力<sup>2)</sup>

供試菌	作用時間(分)	希釈倍数
		スクラベイン4%液 50倍希釈
<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC 25923	2.5	—
	5	—
<i>Streptococcus faecalis</i> ATCC 33186	2.5	—
	5	—

(-)：死滅 (+)：増殖

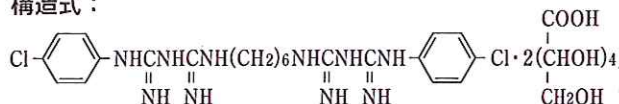
(裏面につづく)

### \*【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：クロルヘキシジングルコン酸塩液  
(Chlorhexidine Gluconate Solution)

化学名：2,4,11,13-Tetraazatetradecanediimidamide,  
N,N"-bis(4-chlorophenyl)-3,12-diimino-,di-D-  
gluconate

構造式：



分子式：C<sub>22</sub>H<sub>30</sub>Cl<sub>2</sub>N<sub>10</sub> · 2C<sub>6</sub>H<sub>12</sub>O<sub>7</sub>

分子量：897.76

性状：クロルヘキシジングルコン酸塩液は、無色～微黄色の澄明な液で、においはなく、味は苦い。水又は酢酸(100)と混和する。本品1mLはエタノール(99.5) 5mL以下又はアセトン3mL以下と混和するが、溶媒の量を増加するとき白濁する。光によって徐々に着色する。比重 $d_{20}^{20}$ ：1.06～1.07

### \*【取扱い上の注意】

〈注意〉

- (1) 経口投与しないこと。誤飲した場合には、牛乳、生卵、ゼラチン等を用いて、胃洗浄を行うなど適切な処置を行う。
- (2) 本剤は希釈せず、原液のまま使用すること。
- (3) 本剤の付着した白布を次亜塩素酸ナトリウム等の塩素系漂白剤で漂白すると、褐色のシミができることがある。漂白には過炭酸ナトリウム等の酸素系漂白剤が適当である。

\*〈安定性試験〉<sup>3)</sup>

加速試験(40℃、相対湿度75%、6ヶ月)の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、本製剤は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。

### 【包装】

1L(ポンプ付)、500mL(ポンプ付)、500mL

### \*【主要文献】

- 1) 大利隆行ほか：アレルギー，33(9)：707, 1984.
- 2) サラヤ株式会社 バイオケミカル研究所 資料
- \*3) サラヤ株式会社 バイオケミカル研究所 資料

### \*\*【文献請求先】

サラヤ株式会社 学術部  
〒541-0051 大阪市中央区備後町4-2-5 TEL.(06)4706-3938

製造販売元

**サラヤ株式会社**

〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8  
TEL. 06-6797-2525(代表)